

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回お示しする以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテ情報の利用をご了解頂けない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

腎機能低下時における直接経口抗凝固薬(DOAC)の安全性に関する検討

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院薬剤部

【研究責任者】 飛鷹 範明 (薬剤部 助教)

【研究目的・意義】

日本人成人の 8 人に 1 人は慢性腎臓病(CKD)と推計されておりますが、腎機能が低下すると、様々な薬剤の腎臓からの排泄が低下するため、CKD の患者さんに対する薬物療法には注意が必要です。一方で、直接経口抗凝固薬(DOAC)は、血栓塞栓症の予防や治療に汎用され、近年使用される機会が増えております。2019 年現在、4 種類の DOAC が使用されておりますが、その全てにおいて、体内からの薬の排泄に腎臓が関わっており、腎機能が低下した方に DOAC を使用する場合、投与量の調節が必要です。また、DOAC の重大な副作用として出血が生じることがあり、特に腎機能低下時には出血リスクが高いことが知られております。しかしながら、特に重篤な腎障害のある方における DOAC の安全性に関する情報や、DOAC 間で安全性を比較した情報は限られていることが現状です。そこで本研究では、腎機能が低下した患者における安全な薬物療法の提供を目的として、腎機能低下時の各種 DOAC の安全性について調査を行います。

【調査の対象となる患者さん】

2013 年 2 月以降に DOAC が処方された患者さんを対象としています。

【研究方法】

調査の対象となる患者さんについて、電子カルテより調査を行います。

【調査項目】

年齢、性別、身長、体重、DOAC の種類および用量、血清クレアチニン、推算糸球体濾過量(eGFR)、出血部位、併用薬

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化しま

す。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。なお、匿名化した情報の一部は、研究分担者である松山大学薬学部へパスワードを付加したファイルにてUSBもしくはCD-R等で郵送、提供することがあります。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 > 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 飛鷹範明

【研究実施体制】

研究機関: 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

研究責任者: 助教 飛鷹 範明

791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号: 089-960-5731

研究分担者: 室長 坂本裕哉

薬剤部長 田中 守

室長 高田裕介

松山大学薬学部 武智 望

松山大学薬学部 准教授 畑 晶之

【研究に関する問い合わせ先】

本研究からご自身の情報を除いて欲しいという方は、下記の連絡先までお申し出下さい。また、本研究に関する詳細な資料を希望される方や詳細な情報を知りたい方は、下記の連絡先まで連絡をお願いします。他の患者さんの個人情報保護および知的財産の保護等に支障がない範囲でお答え致します。

愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 飛鷹 範明

791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号: 089-960-5731